



Asflora 便り 2018年6月01日 ウチンガ州立公園での Asflora 森の劇

Asflora-アマゾン森林友の協会-では、6月1日(金)午前9時から10時半まで、ベレン市のウチンガ州立公園 (Parque Estadual do Utinga) に、サントイザベル市立ジョアキン・シルバ学校の生徒30名と父兄教職員10名を招き、環境教育プログラムを行いました。このところ Asflora の環境教育活動は、苗畑事業と森の劇団員メンバーの都合などから少し低調でした。

舞台は、ベレン市内で最近整備が行われ、人気の高い水源地保全自然公園です。

この公園は Ideflor-bio (州森林開発及び生物多様性保全院) が管理しています。Asflora は、Ideflor-bio によるガマ河流域にある 6,327 ヘクタールの野生動物保全林 (REVIS Metropolitana) の審議委員会の一員です。



ウチンガ公園は、1,393 ヘクタールがあり、ベレン市水道局の取水施設があります。水源保全林としての森が広がっていますが、この森は一度は切られた後に再生した森です。今回は、森の中の小道に入らず、5 km 続く幹線道路 (歩行者と自転車用) の始めの方で、Asflora 森の劇を開幕しました。



↑ 樵と老木的一幕



↑ 樵役のアンデルソンは、劇団のリーダー



↑ オウムが森との関わりを説明



↑ 「エ??、ゴミが沢山捨ててあるぞ」



↑ みんなでゴミを拾った



↑ その先に、酔っ払いが寝ていた



↑ 小川を汚して、魚がギブアップしていた



↑ 折り返し地点、水草に覆われた水源湖



↑ 種を撒く巨大なポットが出現



↑ 種を撒いてエネルギーを送ると・・・



↑ 森の中からマチンタ・ペレイラが



↑ インジォ祈禱師による終幕



Instituto Amigos da Floresta Amazônica-ASFLORA

アマゾン森林友の協会

コーディネーター：ジョジアーネ・マツス

(文と写真：佐藤卓司)